



19カ所目のゴルフ場を傘下に収めた「PGM」次に打ち出す手は



平和<6412>傘下のゴルフ場運営会社パシフィックゴルフマネージメント（PGM、東京都台東区）は2024年10月に「一志ゴルフ俱楽部」を所有・運営する一志ゴルフ俱楽部（津市）を子会社化する。

2011年に平和がPGMを子会社化して以来、ゴルフ場の買収は2023年10月の武庫ノ台ゴルフコース（神戸市）に次ぐ19カ所目で、合計の保有ゴルフ場は149（うち一つはリース運営）になる。

PGMは、事業拡大のために良質なゴルフ場の買収をはじめ、女性や若いゴルファーの獲得に積極的で、さらに2025年3月期は基本方針として新規事業の計画的な推進を掲げている。

次に打ち出すのは、新たなゴルフ場のM&Aなのか、それとも女性向けや新規事業になるのだろうか。パーオンが可能になるティーイングエリアを増設

一志ゴルフ俱楽部は三重県の県庁所在地の津市の中心部から20キロメートルほどの郊外にある18ホールの丘陵コースで、フラットでゆったりとした幅のフェアウェイのコースが多く、クラブハウスは派手さや豪華さよりも、ゆったりと寛げる造りになっているという。

運営会社の一志ゴルフ俱楽部の2024年3月期の売上高は3億7900万円（同13.8%減）だった。

PGMは、ドライバーの飛距離に応じたティーイングエリアの選択を推奨しており、2024年4月からは多くのゴルファーが、パーオン（規定打数より2打以上少ない打数で、ボールをグリーンに乗せること）が可能になるように性別や年齢に関係なく使用できるティーイングエリアを増やすとともに、ティーマークの呼称をカラーネーミング（ブラック、ブルー、ホワイト、ゴールド、レッド、ピンク）に統一した。

また、2024年8月からはナイター営業をしている6コースに加え、PGMゴルフリゾート沖縄（沖縄県国頭郡）と多治見北ゴルフ俱楽部（岐阜県多治見市）でナイター営業を始めた。

ライトアップされた幻想的な雰囲気が体験できるほか、日焼けを気にせずにプレーを楽しむことができるため、女性の利用が見込めそうだ。

2024年4月以降も順調に推移

2024年3月期は、夏の暑さ対策として送風機付ゴルフカート「Cool Cart」を拡大したほか、業務の効率化のためGPSを活用した無人芝刈り機や配膳ロボットを導入。

こうした取り組みに加え、ゴルフプレー需要が堅調に推移したほか、新規に取得した武庫の台ゴルフコースの貢献などもあり、平和の2024年3月期のゴルフ事業の売上高は962億2500万円（前年度比5.0%増）、営業利益は192億5000万円（同32.0%増）の增收営業増益となった。

2024年4月以降も順調に推移しており、4～6月の2025年3月期第1四半期のゴルフ事業の売上高は前年同期比5.3%増、来場者数は同4.4%増となっている。

ゴルフ業界で増えるM&A

ゴルフ業界ではゴルフ場運営大手のアコーディア・ゴルフが、2024年4月に静岡県掛川市のミオス菊川カントリークラブを取得し、運営ゴルフ場数を172としている。

またゴルフ場の一人予約サイトなどを運営するバリューゴルフ<3931>も2024年5月に、デジタル技術で生活やビジネスを変革するDX（デジタルトランスフォーメーション）化を支援するノア（東京都江東区）を子会社化するなど、M&Aが活発化している。

文：M&A Online記者 松本亮一

関連記事はこちら・ゴルフの「アコーディア」と「バリューゴルフ」が相次いでM&Aを実施・2024年初のゴルフ場倒産が発生 堅調に推移する「PGM」との差はどこに

【M&A Online 無料会員登録のご案内】6000本超のM&A関連コラム読み放題!!
M&Aデータベースが使い放題!!登録無料、会員登録はここをクリック